

科目名	英語圏文化・社会 Anglophone Culture and Society	単位数	2
		必選区分	必修
開講学科	国際コミュニケーション学科（1年後期）	科目区分	講義
担当者	藤田 怜史	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	<p>本講義の目的は、アメリカ合衆国が持つ様々な多様性を理解し、異文化に対する理解と関心を深めることである。具体的な到達目標は以下のとおり。</p> <p>1：受講生は、アメリカの地理的広大さが多様性の土台となっていることを理解できる。</p> <p>2：受講生は、現在のアメリカの人種的・民族的・性的多様性を把握しつつ、その多様性が認められるまでの道のりがいかなるものであったかを説明することができる。</p> <p>3：受講生は、様々なテーマに関する調査・プレゼンを通じ、アメリカの多様性について関心を深め、発信することができる。</p>		
授業概要	<p>アメリカ合衆国は様々な意味で多様性の国である。アメリカは地理的広大さゆえに多様な自然・風土を持ち、それが産業や人びとの気質にさまざまな違いを生んでいる。アメリカは白人を中心とする国であるが、アフリカから連れてこられた黒人たちはアメリカ史を語る上では欠かせない存在であり、また近年アジア系やヒスパニック系の人びとの数も増えている。またひとくちに「白人」といっても、そこにはさまざまなエスニックがいる。女性や性的マイノリティもまた歴史的な抑圧に抵抗し、権利獲得が進んでいる。受講生には、こうしたさまざまな多様性が、現代アメリカの社会や文化にどのような好影響を与えているか、あるいはどのような問題をはらんでいるかを考察してもらいたい。</p> <p>※受講生の数により、授業計画が変わる可能性がある 【SDGs：1, 4, 5, 10, 16, 17】</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> ① イントロダクション：アメリカとはどんな国か ② アメリカの国土 ③ アメリカの地域差 ④ プレゼンⅠ：アメリカの名物・名産品・観光地・流行に関する調査 1 ⑤ プレゼンⅠ：アメリカの名物・名産品・観光地・流行に関する調査 2 ⑥ アメリカ黒人の歴史（1） ⑦ アメリカ黒人の歴史（2） ⑧ プレゼンⅡ：奴隷制度、黒人差別、黒人文化に関する調査 ⑨ アメリカにおける移民（1） ⑩ アメリカにおける移民（2） ⑪ プレゼンⅢ：白人移民、日系、アジア系、ヒスパニック系移民に関する調査 ⑫ アメリカにおける女性運動と性的マイノリティ（1） ⑬ アメリカにおける女性運動と性的マイノリティ（2） ⑭ プレゼンⅣ：男女平等憲法修正条項、中絶論争、同性婚などに関する調査 ⑮ まとめ：アメリカの多様性と、それに対する抵抗 ⑯ 定期試験 		
予復習等	<p>予習：配布物がある場合、事前にそれを読んでおくこと。また複数回行われるさまざまな調査について準備をする。</p> <p>復習：各講義で扱ったテーマに関するニュースや文献などに触れ、自身の調査に活かす。</p>		
評価方法	出席状況・授業態度（20%）、プレゼン（30%）、期末レポート（50%）		
履修条件	なし		
教科書	なし。資料を配布する。		
参考書	『よくわかるアメリカの歴史』／著：梅崎透ほか編著／ミネルヴァ書房 『はじめて学ぶアメリカの歴史と文化』／著：遠藤泰生ほか編著／ミネルヴァ書房		